

平成24年度第2回北上市政策評価委員会会議録（要旨）

【行政評価検証専門部会】

日 時	平成24年 8 月 2 日（木）午後 1 時～ 4 時50分
場 所	北上市内（あぐり夢くちない他）
出席者	(1)委員 3名 佐藤徹部会長、高樋さち子委員、和田明子委員__（岩淵公二委員、西出順郎委員は欠席） (2)事務局 (3)担当部課職員
傍聴者	なし

1 議題

(1) 評価対象案件に関連する市内施設等の現地視察

	対象案件	視察場所
1	施策及び事務事業 活気ある商工業の振興について	北上駅前商店会、諏訪町商店街、本通り商店街、北上ツインモールプラザ、花園町商店会、イオンタウン、SUPERおせん、江釣子ショッピングセンター・パル
2	施策及び事務事業 農産品の高付加価値化と新たな流通の開拓について	あぐり夢くちない、(株)更木ふるさと興社
3	施策及び事務事業 ごみの発生抑制について	北上市清掃事業所
4	重要課題 九年橋大規模改修事業の事前評価について	九年橋

2 会議の概要及び主な意見等

各施設を視察し、現地で質疑応答を行った。

(1) 活気ある商工業の振興について

[主な意見等]

- ・諏訪町近隣商店街の店舗の主な業種はなにか。  
→諏訪町アーケード内は居酒屋など飲食店が増えている。店を開けて小売をしている店でも、実際には卸売の比率が大きく、本当に小売だけという店は多くない。
- ・ツインモールプラザ利用客の主な年齢層は。

- 利用者の年齢層は比較的高い。北上市内では、江釣子ショッピングセンター・パルで家族連れの利用が多い。
- ・北上市の商業ビジョンでは商業地域は分散型になるのかどうか。  
→ある意味では分散ということになるが、地域ごとの拠点を公共交通で結ぶイメージ。
  - ・街なかの商店街の後継者問題についてはどうか。  
→現在の事業主は60歳代前後が多い。本通り2丁目、新穀町では40歳代の若手経営者ががんばっている。10年後どうなっているかは、やはり課題になる。

## (2) 農産品の高付加価値化と新たな流通の開拓について

[主な意見等]

- ・観光バスの利用はあるか。  
→観光バスは少ない。自家用車が中心で、口内町内が33%、それ以外の北上市内が37%、奥州市や花巻市など近接市町村から5%程度。
- ・更木桑茶は「あぐり夢くちない」でも売っていたが、スーパー等でも販売しているものか。また、インターネット販売や、岩手県のアンテナショップ（いわて銀河プラザ）は利用しているか。  
→北上市内の普通の小売店でも販売している。また、近所のかたが自宅に「更木桑茶」のノボリを立てて売っているような例もある。ネット販売は、楽天市場に出店しているが、販売額はあまり多くない。銀河プラザでは、先に関の桑茶を取り扱っているので、他の桑茶は置かないと言われている。
- ・製茶施設に対する補助など、北上市は何か役割を担っているか。  
→会社立ち上げ時に、国の緊急雇用対策事業を活用して支援した。現在は具体的な支援はしていない。地域の女性が桑茶を使ったお菓子づくりをしており、6次産業化という視点から支援したいと考えているが、自分たちで負担しなければならない部分もあって課題になっている。

## (3) ごみの発生抑制について

[主な意見等]

- ・特になし。

## (4) 九年橋大規模改修事業の事前評価について

[主な意見等]

- ・九年橋の耐震補強工事はどのようになっているか。  
→防災上重要な「緊急輸送道路」に指定されていないので、九年橋については耐震補強工事が義務化されていない。